

京和の (私の住む地域編) お国自慢



▲ 供物を持って神社に向かう小串の皆さん



▲ 大例祭に参加中の私



▲ 鳥居の前で記念撮影

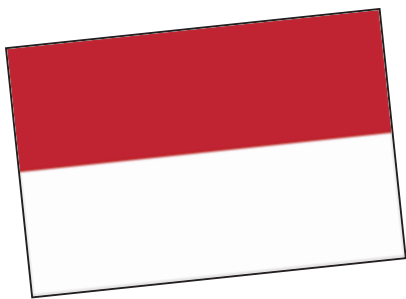


李 京和 (イ キョンファ)
地域おこし協力隊として活動中。韓国語講座や韓国料理教室などを行っている。

肝付町北方に、波見から内之浦方向へ海岸道路を行くと「小串」という地域があります。今は内之浦の北東部の小集落ですが、昔は北方を代表するほどの集落だったようです。この集落には、小串住民が代々守ってこられた「小串八幡神社」があります。いつこの神社が建てられたのかはわかりませんが、「鹿児島社史」にも記されているほどの歴史ある神社です。また弓矢の神として武人の尊宗が厚く、祭神は応神天皇で門守神社もそなえた格調高い社だそうです。毎年11月には五穀豊穡と家内安全を祈願する「八幡神社例大祭」と「山神祭」が行われ、今年は11月7日に実施されました。私も小串住民の方々の大事な行事に参加させて頂き、一連の流れを体験することができ本当に嬉しかったです。小串振興

会の長老から子供たちまで参加した儀式を見て、このようにしてこの大切な伝統が代々受け継がれてきたのだと実感しました。また、住民の方々が神様に捧げる供物を持って神社に向かう姿と、その供物が韓国と似ている、日本と韓国は文化的にも近い国だということを改めて感じさせられました。お祭りの後には、ご婦人方が朝早くから準備された有難いお弁当も振舞われました。

私はこのような貴重な体験を町民の皆さまのお陰で、かげがえのない時間として過ごさせて頂きたいです。自分がここ肝付町民として居られる時間は限られています。もっと肝付町についていろんな事を知り学びたいと思っていますので、これからも宜しくお願い致します。



地域を変える

POWER!!

地域おこし協力隊 ユディカ エルギヤントさん

ふるさと “ジャワ島”

今回は私の生まれたジャワ島を紹介します。ジャワ島には首都ジャカルタがあり、全人口のおよそ56.1%がジャワ島に住んでいます。私は東ジャワのトゥバン市出身です。

インドネシアには300以上の民族があり、一番多いのはジャワ民族です。私の方言はジャワ語で小学校から中学校まで学びました。ジャワ語の伝統文字はタイ語と似ています。ジャワ民族の文化で三つ有名なのはガムラン、ワヤンクリット、パティックです。

ガムラン (写真) は、伝統的なジャワ音楽を演奏するために使用される楽器のアンサンブルです。ガムランの楽器は、打楽器です。日本全国では40以上のガムランアンサンブルグループがあり、その中の9割は日本人です。

ワヤンクリット (写真) は、マハーバーラタやラーマーヤナの物語など、物語のキャラクターに形作られた革のフィギュアを使用した影絵芝居です。海外のワヤンクリットは2009年にユネスコの無形世界文化遺産に登録されました。



▲ ワヤンクリット

パティック (写真) は、ろうを使用して描かれた装飾的なパターンで布を作る芸術です。主にショールで使われています。

肝付町に来て、9か月が経ちました。現在はインドネシアの調味料作りのための原料栽培を岸良で自然農法により取り組んでいます。今年の種取りは何種類か出来ました。まだまだ農業の経験も浅いので、地域の方々に教えて頂きたいです。きばります!



▲ パティック



▲ ガムラン